

地域づくりP.I.の概要

1. 地域づくりP.I.の目的

21世紀の中部の地域づくりについては、価値観の多様化、環境の高まり、人口の減少や高齢化時代など国土を巡る諸情勢の大転換に加えて、厳しい経済社会の変革期の中で、中部地方の持続的な発展を図るためには、これからの国土交通行政（参加と連携による国土づくり、重点的・効率的基盤整備、地域特性を踏まえた効果的な基盤投資）について効率的・効果的な取り組みが求められています。

この取り組みの推進にあっては、地方自治体の首長及び広く国民等のご意見をお聞きし、中部の特性・課題を踏まえた「中部の目指すべき方向」について、国民的議論を行い、共通の認識を形成することが重要であると考えています。

その取組の一つとして、中部管内の自治体の市町村長から各地域が有する課題・問題点や重点的な政策課題等についてご意見をお伺いし、21世紀の中部の将来像とそれを実現するための方策について、検討を進めていくことを目的としています。

2. 地域づくりP.I.の進め方

地域づくりP.Iは、自治体首長に直接訪問してヒアリングを実施する方法と、アンケート調査による意見聴取の2つの方法を用いて行いました。

<実施期間>

- ・ 平成14年2月～同年4月

<調査対象>

- ・ 中部管内全市町村（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県（伊那・飯田・木曾地域）の5県376市町村を対象
うち、364市町村長からご意見をいただきました
- ・ 自治体首長ヒアリング；70市町村
- ・ 自治体首長アンケート；294市町村（回収率96.1%）

3. 設問内容及び回答の整理・集計方法

ヒアリング及びアンケートの設問は、地域が抱えている課題・問題点の実情を認識するとともに、地域が考える地域づくりの方向を把握することを目的に、大きくは以下の3つの項目から構成しています。

- 各市町村で取り組んでいる「地域づくりの基本的な考え方」
- 住宅の整備、水資源の確保など政策テーマ毎に「地域の課題とその対策」
- 国土交通行政が進める社会資本に関する改革への考え

<本冊子の構成>

第1章...回答の集計と具体的な意見 (回答の整理・集計方法)

- ・ 各設問毎に、回答内容を統計的に集計しました。なお、記述式の設問については、回答

内容を咀嚼した上で、要素（主旨）毎に細分化し集計しています。

- ・ 集計結果は、百分率（％）表示にしており、細分化した項目に対する全回答数の割合で表しています。（項目毎の回答数÷回答した市町村数）・具体的な地域の声は、代表的な地域の声を例示し、回答市町村名は、県名までとしました。

第2章...地域づくりの方向、問題・課題、対応策

（意見のとりまとめ方法）

- ・ 自治体首長の考える地域づくりの方向の回答から大きく5つのテーマを設定しました。
生活・暮らし、 環境、 経済・産業、 安全・安心、 交流・連携・参加
- ・ テーマ別に、首長意見等について論点を明らかにするために、「地域づくりの 重点政策（緑枠）」 「地域づくりの問題点や課題（黄枠）」 「自治体首長 の求める具体的な対応策（赤枠）」の流れを整理しとりまとめています。
- ・ また、項目に設問毎の意見について地域の傾向を探るために、都市部と農山漁村地域に分けて集計しています。

都市部とは、中部圏整備計画の政策区域（「整備区域」、「開発区域」の2種）に指定されている市町村、農山漁村地域とは、都市部以外の市町村となっています。

4 . 中部のめざすべき方向の作成の流れ

この調査結果については、21世紀の中部の地域づくりの指針となる「中部のめざすべき方向」（通称『まんなかビジョン』）の立案や国土交通行政の効率的・効果的な取り組み、地方発信の新規施策等への提案等に反映していきます。

さらに、この調査結果を公表し、中部地域全体への各地域の課題・特性や各地域が創意工夫されている取組等を共通認識として醸成を図っていきたくと考えています。

< 中部のめざすべき方向の策定の流れ >

